

事務事業名		幼稚園運営事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	教育・保育グループ	課長名	狩野 明芳
	施策名	(26)子育て支援の充実	担当者名	田中 幹子	電話番号	0854-40-1044
	目的	対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目	会計 015003 大事業名 幼稚園運営事業	(内線)	2252
	目的	対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。	項目	中事業名 各幼稚園管理事業		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
幼稚園の運営事務を行う ・支払事務を行う(幼稚園事務) 各幼稚園の運営費(備品、消耗品等)並びに園児の教育に要する費用 (例)教育用消耗品やバス代等の執行、職員事務費等 ※幼稚園の職員が行う業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 支払事務	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 支払事務			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 決算額	千円	13,023	11,173	10,403	11,740
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	幼稚園児 ※幼保連携型認定こども園は除外、幼稚園型認定こども園は含む	ア 園児数	人	316	283	252	206
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	園児が快適で良質な環境で教育を受ける。	ア 園児一人当たりにおける決算額	千円	41.2	39.5	41.3	57.0
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
各幼稚園の運営費(備品、消耗品等)並びに園児の教育に要する費用 【報酬】1,383千円 【備品】434千円 【報償費】279千円 【賃金】72千円 【旅費】400千円 【需用費】6,054千円 【役務費】864千円 【使及び賃】753千円 【原材料】164千円 ※幼稚園・幼稚園型認定こども園 9園分	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	13,023	11,173	10,403	11,740
	事業費計(A)	千円	13,023	11,173	10,403	11,740
	正規職員従事人数	人	13	10	7	
	延べ業務時間	時間	390	300	210	
	人件費計(B)	千円	1,518	1,166	822	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,541	12,339	11,225	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・町村合併 ・小規模園の増加 専任園長とフリー教諭の配置が変わった。	・嘱託園長の配置(H27年度2園、H28年度5園)による事務の分散 ・認定こども園化により午後保育に係る部分の業務量増	幼稚園予算の拡充(議会、幼稚園、保護者)

事務事業名	幼稚園運営事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	---------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 市立幼稚園の運営に係るコストであり、必要な経費であるが直接的な成果は見出せない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 幼稚園経営を行うものである。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 幼稚園経営を行うものである。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 市立幼稚園の運営に係るコストであり、職員の工夫等でコストカットができる余地はある。園児数の減少による必要経費の減も見込める余地はある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 嘱託園長が園運営の事務を担うことで削減は可能。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 全幼稚園に予算配分している	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・幼稚園予算の配分方法について、検討は必要。 ・事務作業(財務処理)に不慣れな職員もいることから、サポートしながら業務の効率化を図り、業務時間の短縮が図られる可能性がある。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>園児数の減少による必要経費の減額が見込める。 園長の事務作業の効率化を図り、業務時間の削減を図れる見込みがある。そのためのサポートが必要である。また、嘱託園長も事務全般を担っている。(H28年度は5園) 一方で幼稚園型認定こども園化により午後保育の業務が増加。長期休業期間も保育を実施している。(H28年度は3園)</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							